



STAR-ACS NEWS LETTER 第1号

順天堂大学医学部附属順天堂医院 臨床研究支援センター STAR-ACS 事務局

TEL:03-3814-5672 メールアドレス: juntencrc@juntendo.ac.jp

謹啓

季夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。
この度は STAR-ACS 研究にご参加いただき、誠にありがとうございます。

◇ 創刊にあたって

順天堂大学 医学部・大学院医学研究科 循環器内科学 教授 代田浩之先生



急性冠症候群（ACS）患者における心房細動（AF）合併率は、海外から様々な報告があり、高齢者を対象とした研究では 21% と高い合併率を示した報告も認めます。¹⁻⁵ 本邦で実施された多施設共同研究である CREDO-Kyoto のデータからは、急性心筋梗塞で PCI を施行した患者（12716 例）における AF 合併率は、8% と報告されております。⁶

冠動脈イベント二次予防を目的とする抗血小板療法と、心原性脳塞栓発症予防のための抗凝固療法の併用に関しては議論の余地があるところです。イベント予防を強化すれば出血のリスクが増加します。単剤より 2 剤併用、3 剤併用では段階的に出血性リスクが上昇し、そのマネージメントが難しいとされています。

冠動脈ステント留置患者の抗血栓薬の管理については、各種ガイドライン等で整理されてきておりますが、AF 合併 ACS 患者においては、その管理方法について、循環器専門医の中でもコンセンサスが得られておりません。

本研究はイベントリスクの高い AF 合併 ACS 患者の最適な抗血栓療法を見出すための多施設共同観察研究であり、日本人のエビデンスを構築する上で大変重要な意味を持ちます。

是非、本研究にご協力をいただけますよう宜しくお願い致します。



◇ 研究事務局よりご報告

順天堂大学東京江東高齢者医療センター 循環器内科学 教授 宮内克己先生



本研究は4月より稼動しまして、およそ4ヶ月が経過致しました。皆さまには、倫理審査申請準備と本研究の契約締結では大変お手数をおかけしていると思っております。

現在、登録数は24例、102施設が参加されており、着実に患者登録が進んでおります。

本研究では、400症例の登録を予定しておりますが、AF合併ACS患者の数はそれほど多くないため、日本全国の循環器領域の先生方にご協力をお願いしております。該当する患者さんがおられましたら積極的に登録を進めていただけますよう宜しくお願い致します。

本研究結果からAF合併ACS患者の抗血栓薬の使用実態と出血・心血管イベントリスクが明らかになれば、最適な抗血栓療法の実証に繋がります。日本発のエビデンスを発信できるように、是非今後ともご協力宜しくお願い致します。

なお9月に開催予定の日本心臓病学会にて、第2回研究説明会を下記の日程で開催致します。皆さまにお会いできることを楽しみにしております。

日時：平成29年9月29日(金) 19時00分より20時00分

場所：大阪国際会議場 11階 会議室1101・1102

謹白

REFERENCES

1. Eldar M, Canetti M, Rotstein Z, et al. Circulation. 1998; 97: 965–970.
2. Crenshaw BS, Ward SR, Granger CB, et al. J Am Coll Cardiol. 1997; 30: 406–413.
3. Kinjo K, Sato H, Sato H, et al. Am J Cardiol. 2003; 92: 1150–1154.
4. Goldberg RJ, Seeley D, Becker RC, et al. Am Heart J. 1990; 119: 996–1001.
5. Rathore SS, Berger AK, Weinfurt KP, et al. Circulation. 2000; 101: 969–974.
6. Goto K, Nakai K, Shizuta S, et al. Am J Cardiol. 2014; 114: 70–78.